

市民による就学相談会

就学期を迎えた子どもたちのご家族の皆さん、お子さんの就学について不安をもっていらっしゃいませんか。

私たち『共育を考える会』は、どんな障がいを持っている子どもでも、地域（学区）の学校の普通学級で学ぶことがあたりまえだと考え、『共に育つ教育（共育）』を広げる活動を31年に渡って続けてきました。そしてこの31年の間に宮城県でも、障がいを持つ多くのお子さんたちが普通学級で学ぶようになり、その中には知的にも身体的にも重い障がいのあるお子さんたちもいます。そして普通学級を卒業したお子さんの中には、高校や大学に進んでいる人もいます。

また、6年前には障害者基本法が改正されて「可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しなければならない」（第16条1項）と定められました。

それに何よりも、地域の子どもたちは、障がいを持つ子どもたちが別の学校へ行くべきだなどとは思っていません。同じクラスの中にいれば、どんな子だってみんな仲間なのです。

そうは言っても、障がいのあるお子さんを普通学級に入れるというのは、やっぱり勇気がいりますよね。そこで、私たちは、毎年、教育委員会とは別に就学相談会を行っています。そこでは、実際に小学校の普通学級で障がいのある子どもたちの担任をした経験をもつ教師や、障がいのある子どもを普通学級に通わせた親たちが、皆さんの就学に際しての不安や心配をお聞きして、一緒に解決の方向を見つけていきますので、お気軽にご参加ください。

また、現在就学中で、不安やお悩みを抱えていらっしゃる方も、ぜひお話をしにいらしてください。

日 時: 10月29日(日)午後1時半～4時

場 所: 仙台市市民活動サポートセンター(研修室3)

主 催: 共育を考える会 (TEL. 昼 299-1279 コッペ、夜 294-6206 飯嶋)

mail: hak58670@rio.odn.ne.jp

***相談は無料・予約不要です。子ども連れでも結構です。**